

とやま 県広報 2005. 6 vol.412

特集...育て! 元気なとやまっ子
とやま的!...若者の就業支援

県政の動き...4月~7月

元気とやま目安箱

とやま旬レシピ...ヤマブシタケ

とやまお出かけサイト

もっと知りたいとやま

とやまの
表紙の人.....p.7 **芸術文化**

和田伊通子さん・伊藤麻菜実さん(和田朝子舞踊研究所)

2005 / 第62回全国舞踊コンクールの創作舞踊部門で第1位となった和田伊通子さん(右)と、
同コンクール現代舞踊第二部で第1位を獲得した伊藤麻菜実さん。
ダブル受賞で「とやまの芸術文化」を全国にアピールしました。



特集



育て！ 元気な とやまっ子

少子・高齢化社会の進展に伴い、全国的に人口減少時代の到来が見込まれています。県では、県政の三つの柱（活力・未来・安心）の一つである「未来とやま」において、「子育ての支援」を重点政策に位置づけ、未来を担う子どもたちが元気に生まれ、健やかに育つ環境づくりのため、各種の施策に総合的に取り組んでいます。

事と子育て両立支援セミナー」を開催します。

従業員研修や管理職研修の場に講師を派遣し、仕事と子育ての両立支援を進めます。

労働団体、経済団体、NPOなどが、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに関するフォーラムを開催する場合、講師を派遣します。

仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む、その成果をあげている企業を表彰し、県内企業の取り組みの促進につなげていきます。

地域の力を活かします

とやまっ子さんさん広場モデル事業
子育てへの不安を和らげるには、親だけが子育てするのではなく、地域の力を活かした新たな支え合いを進めることが重要です。そこで、地域住民やNPOなどが、公民館、地区集会所や民家などを活用して多様な形で取り組む自主的な子ども居場所づくり活動に対し、県と市町村が協力して助成します。（県内で5箇所程度）

家庭の教育力を高めます

全国家庭教育フォーラムの開催
10月9日（日）に富山国際会議場とその

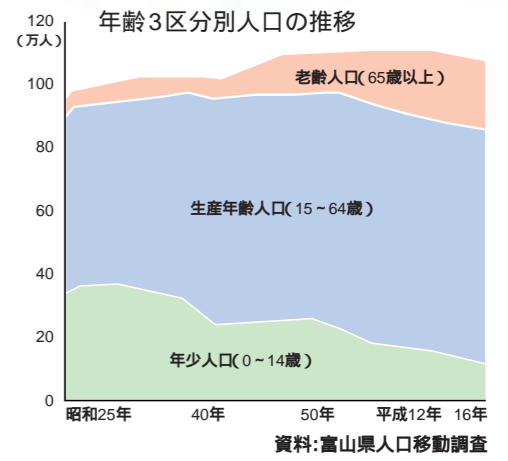
開設期間
年間概ね100日以上
ただし、夏休みなど長期休業期間のみの開設も可

開設時間
14時～19時までの間の原則3時間以上

広場を開設する場所
公民館 地区集会所 民家 など

対象児童
原則小学生以下の子ども
概ね5人以上

世話人
地域住民
地域の高齢者 他



みんなが心配：少子化社会

富山県の総人口は平成10年をピークにゆるやかに減少しています。また、総人口に占める年少人口（満15歳未満の人口）の割合を見ると、30年前は23%でしたが、平成16年には約14%となっており、低下が続いています。

少子化が急速に進むと、地域社会の活力が低下するとともに、子どもたちが互いにふれあう環境が奪われ、健全に育ちにくい社会となるなどが心配されます。

少子化対策・子育て支援については、県民の皆さんも高い関心を寄せています。平成16年の県政世論調査のうち、県政への要望では、景気対策、犯罪対策に次いで3番目に多くなっています。

周辺を会場に、「2005全国家庭教育フォーラムinとやま」を開催します。おもしろ科学実験、絵本、おもちゃ作りなど参加体験コーナーやスタンプラリー、親子ゲームなど、親子で楽しみながら家庭教育を学ぶ催しがいっぱいです。

子育てかがやき事業
3～5歳児とその親が集まり、生活体験・自然体験活動を行う「子育てかがやき体験活動」を各市町村で実施します。

子育て中の親子が気軽に集う子育てサークルの活動に助成します。



大自然の中で親子で楽しむふれあい体験

相談体制の充実を図ります

地域子育て支援センターの増設
子育て家庭に対する育児不安などの相談・指導、子育てサークルへの支援などを行

子どもの歓声があふれる「元気とやま」を目指して

県では、県民の皆さんが「子どもを育てたい」「育ててよかった」と思えるような環境の整備を目指し、市町村などと協力しながら、様々な事業に取り組めます。

働き方の見直しを進めます

仕事と子育て両立支援推進事業
育児休業制度の普及や働き方の見直しなど、子育てしやすい職場づくりに取り組んでア

県、企業、地域などが一体となって子育てしやすい環境づくりに取り組むため、「仕

少子化への対応策として、県や市町村で力を入れるべきこと

1位	労働時間短縮や育児休業制度など雇用環境の整備	49.9
2位	保育料・授業料など教育経費の負担軽減	37.1
3位	若者の定着や流入を促進するための施策	25.4
4位	延長保育や一時保育などの多様な保育	24.1
5位	児童手当、扶養控除額などの増額	22.4

6位以下、青少年の非行防止や健全育成、学校や地域などでの取組み、ゆとりと個性を尊重した教育の推進などが続く
資料：平成16年度県政世論調査結果



う支援センターが、県内29箇所（16年度）から35箇所に増えます。利用に当たって特に登録は必要なく、設置市町村の住民でなくても無料で利用することができます。

利用者の声

小杉町／
薬師幸子さん
（左から2番目）
誠運ちゃん
（中央）

上の子が小さい頃からほぼ毎日来ています。夜泣きがひどくて一人で



で途方にくれていた時も、保育士さんに相談にのってもらって助かりました。他のお母さん方と、いい情報交換の場にもなっています。

自発的な支援活動を応援します

子育て支援NPOパイロット事業
NPO団体やボランティア団体が行う公益的、先駆的な子育て支援事業を募集。県内のモデルとなる活動に助成します。（現在募集中）

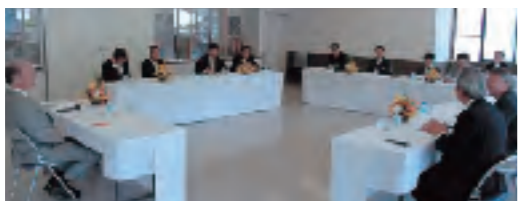
今後とも、県民の皆さんと力を合わせて、地域ぐるみで子育てを支援するサポート体制づくりに取り組んでいきます。

このページのお問い合わせは
県庁児童青年家庭課 076-444-3208

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1201/index.html

今後の予定

- 6月8日...未来とやま戦略会議
- 13日...県議会定例会(～27日)
- 7月2日...とやま起業未来塾開校
- 7日...知事のふれあい対話(氷見市)



知事が企業やグループ、施設などを訪問し、現場の声を聞くふれあい対話。写真は5月の越中八尾おわら風の盆行事運営委員会のメンバーと。

- 10日...知事のタウンミーティング(氷見市)

最近の動き

- 4月1日...県安全なまちづくり条例施行
- 11日...北陸新幹線第1黒部トンネル貫通式(写真①)
- 19日...火災予防対策会議
- 21日...石井知事の県立大学特別講義(写真②)
- 25日...第1回県行政改革推進会議
- 28日...第1回「県安全なまちづくり推進本部」会議(写真③)



①黒部市若栗一宮野間が貫通し、地元、工事関係者ら約150人が祝った。



②1年生を前に「富山県をめぐる諸情勢と元気とやまの創造を目指して」というテーマで講義を行った。



③会議後、石井知事らが知事政策室前に看板を取り付けた。

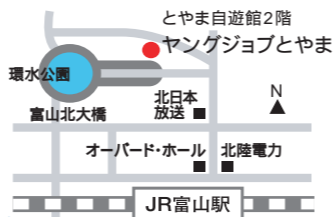


④鴨川での対話終了後、村木小の児童とヤマメの稚魚の放流を行った。

- 5月9日...春の叙勲伝達式
- 12日...県国民保護協議会
- 13日...県ツキノワグマ等保護管理検討委員会
- 14日...知事のふれあい対話(富山市・八尾地区)
- 19日...知事のふれあい対話(魚津市)(写真④)
- 23日...「とやまブランド推進本部」第1回会議
- 24日...「とやま賞」贈呈式・記念講演会
- 26日...とやま森の祭典
- 28日...知事のタウンミーティング(魚津市)
- 31日...大学等合同就職面接会

- 6月3日...愛・地球博「富山県の日」

ヤングジョブとやま
利用時間...9:00～18:00(月～金)
場所...とやま自遊館2階
(富山市湊入船町9-1)
TEL: 076-445-1996
FAX: 076-445-1197



URL <http://www.youngjob-tym.jp>

ヤングジョブとやま巡回相談(高岡)
カウンセラーが就職に関する相談を受けます。(1人当たり1時間程度)
利用日時...毎週木曜 13:30～16:30(祝日を除く)
場所...ウイング・ウイング高岡5階生涯学習センター内
対象...学生～30歳くらいまでの方、その保護者
定員...1日3名まで(事前予約制:申込み順)
申込先...高岡市工業振興課 TEL: 0766-20-1297
県東部においても7月頃に開始する予定です。



「ヤングジョブとやま(富山県若者就業支援センター)」は、若者の就業に関する情報提供から職業紹介までのサービスを一つの窓口で提供する拠点施設。いつでも立ち寄れるカフェのような気軽さと、充実したサポート体制で若者の「働きたい気持ち」を応援します。

とやま的！
若者の就業支援

若者の「働きたい」を応援したい！

若者の仕事の出来る場

県では、若者の就業支援の拠点施設としてヤングジョブとやまを設置し、平成16年7月からサービスを開始。平成17年3月までの9カ月間に延べ1万8000人が利用し、その中から191名が就職に結びつくなどの成果をあげてきました。

現在、県内の15歳から24歳までの若年層の有効求人倍率は、他の年齢層よりも高い2.09倍。しかし、完全失業率は6.9%で他の年齢層よりも高く、また、新規学校卒業者の早期離職率は、全国の状況と同様に高い水準にあります。さらに、最近ではアルバイトで生計を立てるフリーターやニートの存在が解決すべき問題となっています。

まず、話すことから始めよう

若者の早期離職率の高さやフリーターなどの問題の原因として、企業が求める人物像と若者の職業意識の違い、若者が求める職種や労働条件の不一致といった「雇用のミスマッチ」が、構造的に存在していることがあげられます。こうした問題に対応し、きめ細かな就業支援を推進するため、県ではヤングジョブとやまを中心に次のとおり取り組んでいくこととしています。

① カウンセリングの充実
カウンセラーを増員し、悩みを抱えた若者たちに対して時間をかけて適切なカウンセ

働く現場を身近に体験

この他、県では職業意識の希薄な若者に対し、早い段階からその醸成を図ることが大切と考え、教育段階に応じて次のような取り組みを展開しています。

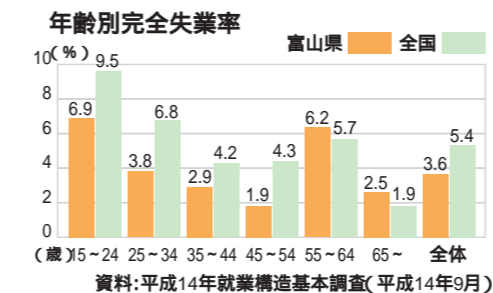
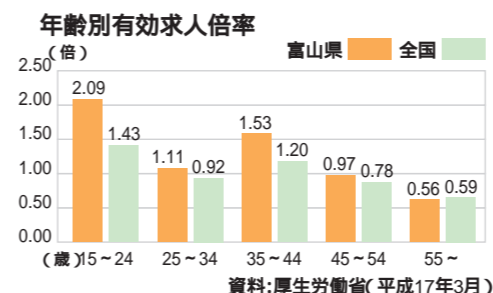
- ① 小学生「ボランティア体験」
様々なボランティア体験を行い、社会参加に対する意識を醸成
- ② 中学生「社会に学ぶ14歳の挑戦」
中学2年生が職場体験活動等を行い、自分の適性や可能性を発見
- ③ 高校生「ジュニアインターンシップ」
高校生、ジュニアインターンシップの就業体験等を通じ、自らの適性と職業の

② 巡回相談の実施

まずはヤングジョブとやまへ足を向けてもらうため、県東部と西部で巡回相談を実施し、利用のきっかけづくりを図ります。

③ インターネット若者就職支援講座の実施
転職希望者やフリーターなど、日程の都合でヤングジョブとやまに来られない若者への支援として、インターネットを活用した就職支援講座を行います。あわせて保護者向けの講座も実施し、就職サポートのノウハウや各種情報を提供します。

④ ニート等への支援
フリーターやニートと呼ばれる若者を対象にNPOの協力を得て就労体験や社会参加体験を行う「若者自立チャレンジトレーニング事業」を実施します。



平成13年3月新規学校卒業者の入社3年以内の離職率

	大学	短大	高校
富山県	28.5	38.9	42.9
全国	35.6	42.2	48.8

資料:厚生労働省

ニート[NEET]...Not in Employment, Education or Trainingの頭文字をとったもの。就業、就学、職業訓練のいずれもしていない若年無業者。

このページの
お問い合わせは
県庁労働雇用課
☎076-444-8897

URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1303/index.html

和田伊通子さん 伊藤麻菜実さん

和田朝子舞踊研究所



指先、かかと、つま先まで、すべてに神経をはりめぐらせて。毎日の積み重ねが、舞台での一瞬に結びつく。バレエレッスンで伊藤さん(手前)と和田さん(後姿)、呉羽の市民芸術創造センターにて

ダンスを通して 出会う、変わる、成長する。 とやまの舞台が、もっとおもしろくなる。

生まれた時からダンスと一緒に？



伊藤麻菜実さん

「音楽がなると踊りだすような子どもでした」と語るのは、第62回全国舞踊コンクール現代舞踊第二部で第1位を獲得した伊藤麻菜実さん。まだ中学1年生ですが、すでにキャリアは9年。週に5日は練習する踊り好きです。「難しい振りの時は、少しいやになる時も。でも、本番はすごく楽しい」。コンクールで踊った『Candy』はミトキャンディーをテーマに、「元気と一緒にしなやかな表現が求められたので難しかった」と、はにかんだ様子ですが、指導にあたる研究所主宰の和田朝子さんは「大舞台でソ口を踊れるのは基本がしっかりしているから。涼やかな風が抜けるようなそう快感が課題でしたが、彼女のフレッシュでシャープな持ち味が十分生かされたと思います」と、大満足の表情です。来年はドイツで開催の「世界子ども演劇祭」でミュージカルに出演予定の伊藤さん。新しいチャレンジはすでに始まっています。

コミュニケーションが作品をワクワクさせる



和田伊通子さん

和田伊通子さんも創作舞踊部門で第1位を受賞。同研究所出身の中川賢さんを踊り手に、振付、衣装、舞台セットまで演出の全てを担当しました。「受賞作品の『Balance』は心の揺れ動く様子を表現したもので、セットは斜めの平均台、転がるボール、男女の見分けがつかない踊り手など、いろんな不安定要素を積み重ねました」と和田さん。作品の構想を描き始めてから実現まで約2年と長いですが、「ライブの表現ですから、踊り手とのディスカッションで変更したり、最後は踊り手に任せるところもある。イメージが実現していくリハーサルが、ワクワクして一番好きです」。今も、頭の中には次の作品が何本も駆け巡っているという和田さん。富山のダンスシーンから、ますます目が離せなくなりそうです。

現代舞踊第二部は、1992年4月2日以降に誕生の者を対象とするもの

とやま旬レシピ

ヤマブシタケときゅうりのごま酢和え

山伏の衣装についている丸い飾りに形が似ているため、その名がついたヤマブシタケ。免疫機能を高めたり、脳を活性化したりする効果があると言われています。今回は、初夏らしくごま酢和えで。ほかに、かき揚げや、チーズとあうのでピザの具にしてもおいしくいただけます。



左がごま酢和え。右はヤマブシタケと白エビ、じゃがいも、オクラのかき揚げ

作り方

1. ヤマブシタケは粗く裂き、少なめの熱湯でさっとゆでる。
2. きゅうりは縦半分にして斜め薄切りに。みょうがは千切りにし、それぞれ塩で軽くもんでおく。
3. Aの調味料を合わせ、1とかたく絞った2を混ぜ合わせる。

ヤマブシタケのゆで汁にエキスが出るので「ヤマブシタケ茶」として飲んでも良い。

ヤマブシタケ

主な産地...南砺市利賀地域

材料・分量(4人分)
 ヤマブシタケ...1パック
 きゅうり...3本 みょうが...2個 塩...少々
 A(白すりごま...45g 酢...大さじ2 砂糖...大さじ1 しょう油...大さじ1/2)



1人分 / 101kcal

[協力]富山市食生活改善推進連絡協議会

元 気 と や ま 目 安 箱



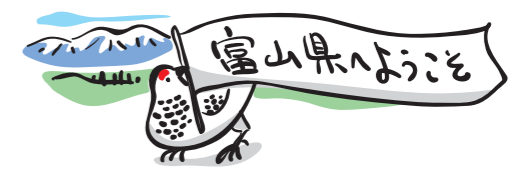
4月から「元気とやま目安箱」がスタートしました。

県民の皆さんから、率直なご意見やご提言をいただくために、「元気とやま目安箱」事業をスタートしました。「目安箱」あてのご意見には知事が目を通し、積極的な政策提言などには知事が回答します。また、ご意見について一定期間内に回答するとともに、県政への反映状況なども、定期的に公表します。ぜひ、皆さんの声をお寄せください。

子どもが小学校に通っていますが、現在、通学路として利用している道路に危険な場所がいくつかあって、毎日とても心配です。学校周辺の危険箇所の点検や改善は、どのように行っているのでしょうか。

県内には立山黒部アルペンルートやおわら風の盆など恵まれた観光資源がありますが、交通機関の連絡が悪かったり、現地の対応が未熟だったりして、リピート客を減らしている気がします。民間のレジャー施設などを見習い、お客を飽きさせない工夫をして欲しいと思います。

通学路については、各学校ごとに警察やPTA、自治会などとも協力し、可能な限り安全性を確保しています。また、交通事情や危険箇所の確認など、必要に応じて点検等を行っています。



県では、自然景観、歴史文化、味覚、産業など、海外からも高い評価を受ける観光資源を生かし、民間と連携した「富山のお宝観光ルート開発推進事業」などに取り組んできました。

今年度には、これまでの取組みに加え、近く設置する「未来とやま戦略会議」の観光・交流部会において、今後の新幹線など交通網の整備を視野に入れ、有識者をはじめ、幅広く県民の皆様方のご意見をお聞きしながら、広域的な観光コースの企画や、観光地における交通アクセスや受入体制の整備など、様々な課題に取り組みたいと考えています。

この件のお問い合わせは 県庁福利保健課 ☎076-444-3445

この件のお問い合わせは 県庁観光課 ☎076-444-3200



「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

はがき・手紙...〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課 FAX...076-444-3478
インターネット...URL <http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>

県 政 ク イ ズ (の 中 に 文 字 を 入 れ て く だ さ い)

育児不安などについての相談・指導、子育てサークルへの支援などを行うセンターを「地域支援センター」といいます。

正解者の中から10名の方に、「かいによコースター輪廻くん」と「砺波平野の屋敷林下敷き」をセットでプレゼントします。当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお、発送予定日は6月20日(月)です。



昨年の台風で倒木した砺波平野の屋敷林(かいによ)から作ったコースターです。

ヒントはp.2特集ページにあります。

応募方法...はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、下記まで。宛先...〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」

締切...6月17日(金) 必着)

トピックス!

高校生以下および障害をお持ちの方は、県の文化施設の観覧料が年間を通して無料になりました。

とやまお出かけサイト



富山県立近代美術館 アートの今を体感する

20世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の3つの視点から展望する美術館。ピカソなど巨匠たちの作品からシュルレアリスム、抽象美術まで多彩な美の表現を概観できます。今回の企画展では、県出身の詩人・美術評論家、瀧口修造の書齋に集まった約700点あまりを展示。「自由」への夢を求めて瀧口のもとに漂着した「夢の漂流物」やそれらから夢想した「オブジェの店」を紹介します。

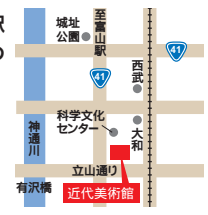


「書齋での瀧口修造大先生(大辻清司撮影)」

催し... 瀧口修造 夢の漂流物 ミロ、デュシャン、日本の美術家との交流の結晶
期間... 5月28日(土)~7月3日(日) 料金... 一般700円・大学生500円

開館... 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館... 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始(12/28~1/4)
住所... 富山市西中野町1-16-12
交通... JR富山駅5番バス乗場から「西中野口」下車、徒歩2分

富山ミュージアムバス(富山駅南口C横より10:00~16:00の毎時00分に発車)
料金... 常設展: 一般200円 大学生160円
お問い合わせ... 076-421-7111



URL <http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>



富山県中央植物園 花をめぐる世界の旅

県の植物園ネットワークの核として整備された、日本海側初の総合植物園。花のプロムナードを中央に北は世界の植物ゾーン、南には日本の植物ゾーンが配され、ランや熱帯果樹、中国雲南省の植物、日本海側特有の野生種などを展示しています。6月はクレマチス園が見ごろを迎える時期。恒例のさつき展も開催します。



催し... さつき展 期間... 6月3日(金)~15日(水)

開園... 9:00~17:00(入園は16:30まで)
休園... 木曜日(祝日を除く)、年末年始(12/28~1/4)
住所... 富山市婦中町上善田42
交通... JR速星駅より車で8分
JR富山駅6番バス乗場からファポール経由 萩の島循環「中央植物園前」下車

料金... 大人(一般・大学生)600円
6月末まで試験的に料金を値下げし、大人400円でご利用いただけます。
お問い合わせ... 076-466-4187



URL <http://www.bgtym.org>



もっと知りたいとやま

6月の県政番組・お知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
[毎週日曜] 11:00~11:30
5日... 黒部ルート
12日... 県立大学が変わる!
19日... 私たちの地球を守る

富山Xモラナイト チューリップテレビ
[毎週火曜] 21:55~21:58
県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

週刊!とやま元気家族 富山テレビ
[毎週日曜] 9:00~9:25
5日... リサイクル
12日... 立山カルデラと砂防
19日... 社会に学ぶ「14歳の挑戦」
26日... 自分らしい生き方って何だろう~男女共同参画~

コミュネットとやま
[毎週月曜] 各局朝8時頃 富山シティエフエム
ラジオたかおか ラジオ・ミュージックエフエムとなみ
[毎週金曜(生放送)] 上記4局とも18:40~18:50

元気とやま情報スクエア FMとやま
[毎週月~木曜] 10:50~10:55、(再)17:20~17:25
[毎週金曜] 10:50~11:00、(再)17:20~17:30
毎月最終金曜は「知事の県政ざっばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

新聞広報
県からのお知らせ
[6月11日、25日の朝刊各紙に掲載予定]

富山県ホームページ
URL <http://www.pref.toyama.jp/>

「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課あて
電話番号: 076-444-3134
FAX: 076-444-3478
E-mail: koho@pref.toyama.lg.jp
ホームページ:
URL http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

編集部から
6月号から誌面をリニューアルしました。「表紙の人」では、元気とやまを象徴する人やグループを「元気とやま目安箱」では皆さんからいただいた意見・ご提言を紹介いたします。県の施策をわかりやすく伝え、ページを開くことが楽しくなる誌面作りをしたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。